

令和 5 年度第 4 回瑞浪市地域公共交通協議会 会議録

会議の日時	令和 5 年 12 月 27 日 (水) 10 時 00 分
会議の場所	瑞浪市役所 2 階大会議室
出席委員	出席委員 16 名 勝 康弘委員、磯部 友彦委員、渥美 宏委員、伊藤 康浩委員、 野田 なつみ氏 (代理・Web)、中尾 学委員、亀山 鉄也委員、 木村 治史委員 (Web)、加藤 博康委員、山田 和洋委員、加藤 博一委員、 原田 武典委員、正木 英二委員、林 恵治委員、鈴木 創造委員、 中村 恵嗣委員 (欠席者: 今川 孝英委員、後藤 忠則委員)
事務局	豊崎 忍、坂崎 慎一郎、小木曾 なつ
瑞浪市観光協会	稻垣 昌克氏
委託業者	ランドブレイン株式会社 岐阜事務所

1. 開会

司会 (事務局)

定刻となりましたので、令和 5 年度第 4 回瑞浪市地域公共交通協議会を始めます。

今回も前回と同様に Web と対面のハイブリッド開催としました。瑞浪市地域公共交通計画策定の委託業者であるランドブレイン株式会社も今回同席しておりますのでご承知おきください。よろしくお願ひいたします。

最初に本日の資料の確認です。事前に送付させて頂きました資料とは別に、本日追加資料を配布させて頂きました。国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局主席運輸企画専門官の渥美委員より情報提供がありました「旅客運送 2024 年問題への対応」、以上が本日の配布分となります。事前にお配りさせて頂きました資料について確認させていただきます。「会議次第」、「令和 5 年度第 4 回瑞浪市地域公共交通協議会出席者名簿」、「資料 1-1 ムカオ-Car チラシ配架先」「資料 1-2 ムカオ-Car 申込一覧」「資料 1-3 乗降場所一覧」「資料 1-4 各種データ集計」「資料 1-5 ムカオ-Car 利用者アンケート」「資料 2 瑞浪市地域公共交通計画 (素案)」、「第 3 回議事録」、これを事前にお配りさせて頂いております。資料確認は以上です。過不足はございませんでしょうか。

2. 会長あいさつ

司会 (事務局)

それでは次第の 2 に移ります。瑞浪市地域公共交通協議会会长の勝副市長よりごあいさつ申し上げます。

会長 (勝委員)

おはようございます。本日は年の瀬の忙しい中、第 4 回の協議会にご出席をありがとうございます。今年度は瑞浪市地域公共交通計画の策定を進めており、11 月に各地区からの課題の意見聴取、事業者ヒアリングを実施し、調査がすべて終了しました。把握した課題を解決するための事業案を提示したので、それぞれの立場で取り組める事業や取り組みが難しい事業などある場合は、本計画に反映させていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。前回の協議では基本方針までをご協議いただきましたが、今回は方針を達成するための目標と事業及び実施主体、評価・改善方法についてご協議を頂きたいと思います。また、市の観光協会が実施した観光デマンド交通の実証実験が終了したため、事務局長より実績報告がありますので、計画に反映させたいものがありましたら、併せてご協議頂きたいと思いますのでよろしくお願ひします。

議題に入る前に、本日の会議の議長の選任を行いと思います。議長は瑞浪市地域公共交通協議会設置要綱の規定により会長が指名するものが議長となるとありますので、議長は、副会長である磯部委員を指名させていただきますので、よろしくお願ひします。

皆様の慎重審議をお願いいたしまして私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

司会（事務局）

ありがとうございました。本日は出席者名簿にあります5番、岐阜県都市建築部都市公園・交通局公共交通課長の城戸脇委員の代理として野田様にWebにてご出席頂いております。

本日の会議の成立についてですが、委員18名中、代理出席、Web出席を含めて、16名がご出席しており、設置要綱第6条第2項中に「委員の過半数の出席」の規定がございますので、本会議は成立していることをご報告します。

本会議は、設置要綱第6条第6項の規定により、「原則として公開」となっておりますので、ご承知おきください。

3. 報告事項について

司会（事務局）

それでは次第の3. 報告事項に移ります。

ここからは、先ほど勝会長から議長のご指名がありました、磯部委員に議長をお願いします。磯部議長、議事の進行をよろしくお願ひします。

議長（磯部委員）

それでは、ご指名を頂きましたので、議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。なお、本日の会議の議事録署名を瑞浪市土木課長の中村委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

最初に報告事項について、瑞浪市観光協会より説明をお願いします。

観光協会 稲垣氏

（報告事項（1）「瑞浪市観光協会より観光デマンド交通の実績報告について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ありがとうございました。ただいま、瑞浪市観光協会のご担当者から報告がありました。委員の皆様からご意見等ありましたら受け付けます。

予約の話がありましたが、予約しておいてキャンセルしたり、キャンセルせずに来ないといったケースはありましたか。

観光協会 稲垣氏

申し込みされた方は基本、来られました。唯一、資料1-3にありますが、10月1日の当日キャンセルとあるのは、この日は朝8時半くらいから大雨になり、大雨のなか歩けないということで、9時ちょっと前に連絡がありキャンセルがありました。それ以外はありませんでした。

議長（磯部委員）

天気次第ですが、そこを如何に臨機応変に対応するのかが課題かもしれません。今後、街道を歩く人には魅力的とのことなので、そこをターゲットにして宣伝していくと、もっと利用されると思いました。他、意見はよろしいでしょうか。

鈴木委員

運賃収入はわかりましたが、経費はどうなっていますか。

観光協会 稲垣氏

経費として約 90 万円かかっています。そのうち、半分は岐阜県の補助を貰っています。

議長（磯部委員）

計画にも記載がありますが、最近 MaaS の話があります。今は、交通機関同士の連携が主ですが、もう一つ踏み込んで、お土産店とかとのタイアップなどがでてくると、地域のいろいろな支援によってうまくお金が回るといいと思います。地域の人に興味を持つてもらわないと進まないので、交通に何が欲しいのかが繋がるといいと思います。観光も見る・食べる・お土産など要素が沢山あるので、その辺が連携していくといいと思います。他にご質問やご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、報告事項は以上となります。

4. 協議事項について

議長（磯部委員）

次は協議事項です。協議事項（1）瑞浪市地域公共交通計画（素案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（協議事項（1）「瑞浪市地域公共交通計画（素案）について」資料に基づき説明。）

議長（磯部委員）

ずっと継続して審議している件ですが、いよいよ最後で、後半部分です。8 章以降に基本方針と目標、将来像、関係者の役割、地域公共交通ネットワークの基本的な方向としていろいろな交通機関を連携していくという話や、デマンド交通を拡げていこうとの話があつたり、病院の話もあつたり。目標と評価も予め考えておく必要があり、9 章に誰が関係してくるかが細かく記載されています。計画は大枠なので、この後、具体的な事業については、この計画に沿ってやっていくということで、ここで細かい事業まで記載するかは議論するところですが、まずは大枠を検討したいということです。委員の皆様から意見はいかがでしょうか。

渥美委員

議論の説明のなかであった運転手不足の話ですが、資料を用意しました。配布した「旅客運送 2024 年問題への対応」について説明します。物流の 2024 年問題はニュース等で報じられていますが、旅客もバス等も最近報道で減便とか廃止とか報じられています。現状として、全国的に運転手不足で、バス運転手は近年、増加傾向にあったのですが、令和 2 年より減少に転じています。タクシーについては、平成 21 年頃から減少を続けています。2 種免許保有者は平成 10 年から減り続けて、比較すると約 7 割となっています。運転者の高齢化とか応募者の減少などにより運転手の不足が顕著になっています。

ます。そもそも労働時間の基準が定められており、拘束時間や休息時間の基準が働き方改革関連法、ワークライフバランスの実現に向けて 2024 年 4 月から改正が適用されます。運輸業界の問題として、長時間労働とか低賃金などイメージが悪く、負のスパイラルに陥っているので、労働環境の改善が必要となり、改正の告示が行われているところです。労働環境を良くしようとの趣旨なのですが、一時的には運転手不足に拍車がかかるのではないか、ということです。2024 年問題への対応ということで、事業者の対応として、賃金水準の見直し、運転手確保対策の強化、安全への投資ということで運行コストの上昇が見込まれており、いろいろなところで運賃改定とか事業者は大変苦労されています。事業者だけの対応では何ともしがたいものがあるので、例えばコミュニティバスであれば契約の見直しとか、運行ダイヤも運転手不足で厳しいものがあるので、その辺を公共交通会議等でその辺の視点を踏まえて議論をいただければと思います。

議長（機部委員）

ありがとうございます。計画の枠の中でこれをどこまで踏まえるかだと思います。渥美委員の情報提供は単に運転手が不足するだけではなく、コストや地域の必要性も含めて議論が必要で、計画にも盛り込んでいくことだと思います。それを踏まえて、どこに強く打ち出すのか、それがいいのかの問題提起だと思います。それを踏まえて事務局から何かありますか。

事務局

事業者とのヒアリングを通じて、運転手不足の話は聞いていました。市が運行する交通のなかでは多くの運転手にお願いして運行しているので、デマンド化で解消できるのか、地域で有償運送に取り組んでいこうという話も聞いていますので、その辺の支援も考えていく必要があると考えています。

議長（機部委員）

第 9 章のあたりで、その辺も踏まえてどこを強調するのかだと思います。委員の皆様、他にありますか。

中村委員

前半の部分でもよろしいですか。13 ページのところで近年の国内動向で、最近、ライドシェアが 4 月から条件付きで解禁との話もあるので、ここでライドシェアについて触れてもいいのかと思いました。

議長（機部委員）

事務局からどうですか。近年をどこまで指すのかが難しいところですが、確かにいろいろな方向性があり、すでに他の地域で努力されているところもあるので、国全体のルールよりもいろいろな地域の努力も国内動向かも知れません。

事務局

具体的な取組のなかで、有償運送の話がでてきており、そこにライドシェアも包括していると考えています。いま、渥美委員からご説明いただいた 2024 年問題についても近年の国内動向だと考えていますので、付け加えていこうと考えています。

議長（機部委員）

恐らく、資源、交通を供給できる人たち、バス、トラック、タクシーもあるし、企業の送迎バスとか学校の送迎とか自家用車でやっている車の活用があるだろうと。更には個人所有の車の活用など、いろいろな資源があるだろうと。安全も含めて地域の合意を得てやっていく事だと思いますので、将来像のあらゆる交通にはそういうものも含まれており、今後はその辺も見ていかなくてはいけない時代になっていると思いますので、ご検討ください。他、いかがですか。

山田委員

乗務員不足についてお話しいただきありがとうございます。

世の中で乗合バスが減便するとかありますが、コミュニティバスの運行事業者からみれば、運転手がいなければ入札に行かない、突然消えることもあります。そのようなことをしないようにと思っていますが、事業者としてはそのような危機感があります。2024年問題は2019年から分かっていた問題で、5年の猶予があつただけです。分かっていた部分が多い中で、コロナ禍で動けなかつたので突然でてきたように見えるだけだと思います。気になるのが59ページの課題のところに、地域公共交通の待合環境の課題があり、63ページの交通ネットワークに瑞浪駅・釜戸駅と東濃厚生病院、稻津や陶のコミュニティセンターが交通結節点となっています。東濃厚生病院は移転をされた後に、結節点として成立するのでしょうか。この印が適切なのでしょうか。課題の中に待合環境があり、乗り継ぎをするので、駅とコミュニティセンターは可能だと思いますが、新病院もどうなるか分かりませんが、整合性があるものにしてもらえばと思います。ライドシェア、有償運送は新たな技術ではなく、人々、仕組みはあるので、それを一足飛びにした取り組みで、事業者としては違和感があるのでその辺の取り扱いには注意をしてほしいと思います。課題の59ページに公立中学校のスクールバスとの一体的運用とあります。コミュニティバスとスクールバスが同じ時間帯に同じエリアを走っているので、運転手不足のなか、腹立たしいことではあります。なぜ、同じ時間帯に別々の車で運ばなくてはいけないのか。その一方で、当社も真剣に検討しましたが、スクールバスも企業送迎もそうですが、緊急時に時刻表を変更するという時に、病院のお客さんを運んでいたら、途中でどちらを優先するのかといったら、契約元はどこか、となったらスクールバスなので、病院が後回しになります。それがいいのかということになり、一体的な運用は簡単ではありません。緊急時の対応はすべて優先されるべきだと思いますが、スクールバスの子どもも、病院にいっている交通弱者も交通手段は大切です。市内の公立中学校の諸問題について、議論、結論がでているのであれば、それに準じますし、統合となれば別の議題になりますが、それを含めるべきなのか、含まれているのか、先のことを記載するのに、目処がたっているのに記載がないのは適切ではないと思います。大きな変更があれば記載されるべきだと思います。

議長（磯部委員）

中学校スクールバスの導入時点からの課題です。当時、財源が違うから分けざるを得ないと記憶がありますが、今、どのような検討がなされていて、当初の考え方から変わってきているのかだと思いますが、その辺りいかがでしょうか。

事務局

スクールバスについては様々な課題があることは承知していますが、今回この計画の中でどこまで踏み込んで書くかどうかは、今後の課題と思っています。今後5年の間に決めていく事かと思っています

ますが、5年を待っていると運転手不足もあり、計画に書くのは難しく、課題としては短い文章で終わっていますが、この場で議論ができれば記載していきたいと思います。東濃厚生病院の結節点については、現状、コミュニティバスやデマンド交通は、ほぼ東濃厚生病院を経由又は停まっているので、現状の利用のされ方から結節点としています。今後については、我々も承知していないので、この場で協議いただければと思います。

山田委員

結節点は2種類以上の交通を乗り継ぐものであって、コミュニティバスとデマンドは違うが、大きな乗り物である鉄道や路線バスがあるかというと、駅と東濃厚生病院は離れており、あれを同じ点で扱うのかというと扱わないと思うので、東濃厚生病院が変わって、東濃鉄道バスが入れるようになるのか、そうなれば分かりませんが、今の状況から結節点というのが妥当かどうか分かりません。

気になるのは68ページに事業として、コミュニティバスと公立中学校スクールバスとの一体的運用とあり、その上にはコミュニティバスの再編とあります。なぜ、再編ではなく一体的な運用となるのか。運用となると、運用する事業を考える必要がでてきます。中学校の統合の話もあり、再編ではなく一体的運用と書いてあるのがどうかと思います。

議長（磯部委員）

結節点の意味合いの再整理が必要との話と、68ページの指摘は、課題であれば悩んでいるだけでいいが、ここはこれからやっていこうという箇所なので、もっと積極的な表現になるので、具体的な中身をどう考えているのかだと思います。事務局からいいでしようか。

事務局

一体的運用の表現となっていますが、現状、小学校がコミュニティバスを利用しており、同じ時間帯にスクールバスが動いていますが、具体的な中身までヒアリングでは聞き出すことはできていません。教育委員会とも話を詰めて、この表現は検討したいと思います。結節点については、山田委員の指摘の通り、病院については今後どうなるかわかりませんが、路線バスが乗り入れることは考えにくいと思いますので、削る方向で検討していきたいと思います。

議長（磯部委員）

結節点はもう一度整理することです。微妙な表現になっているところは、もう一度整理してもらえるということです。他はいかがですか。

今回の審議でどこまでまとめるかですが、今後、議論をどこまで続けていくかを話してもらった上で、議決を取りたいと思います。今後、どのように議論していきますか。

事務局

具体的な取り組みとしては、交通計画をもとに次年度、陶地区でデマンド交通導入に向けた説明をしていきたいと思っています。来年度、稻津地区、萩原線については、まだ調査が必要と考えており、地域の要望やオンデマンド運送の可能性についても調査していきたいと考えています。今後の流れにつきましては、来年1月17日の協議会を経まして、1月末から2月中のパブリックコメントを経て、3月中には策定していきたいと考えています。

議長（磯部委員）

1月にもう一回、ご足労願いまして、会議を開いて、最終的な成果物にしたいと思います。それまでに文言を整理してもらうことをお約束したいと思います。計画だけ見ると、プロジェクトが進められるものは進めていくし、検討段階のものは検討を進めていくことになると思います。他、何かありますか。

今日議論して、いくつかの見直し点が出たので検討して頂くとして、今日の段階としては、全体の方向性として、8、9章はお認め頂きたいと思いますが、よろしいですか。

では承認ということでお願いします。ありがとうございます。

その他について、先ほど、渥美委員からご説明頂きました。その他に皆さんから情報提供などありますか。よろしいですか。

それでは、報告事項、協議事項は以上となりますので、これにて議長を降りさせて頂きます。

委員の皆様には、慎重審議をしていただき、誠にありがとうございます。これ以降は事務局にて進行をお願いいたします。

司会（事務局）

磯部副会長、スムーズな議事進行をありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、審議をありがとうございました。次回の協議会については、1月17日水曜日、午前10時から開催しております。本日ご審議いただいてご意見を頂いた内容、市役所内にて聴取した意見を反映し、計画案をご審議いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

短い期間での開催となり委員の皆様にはご負担をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いします。

それではこれをもちまして、令和5年度第4回瑞浪市地域公共交通協議会を終了させていただきます。本日はご多忙のなか誠にありがとうございます。

(10時50分閉会)

令和6年／月／日

議事録署名者 中村亮司